



大里農林振興 センターだより

発行 埼玉県大里農林振興センター
熊谷市久保島1373-1（管理部・農業支援部） ☎ 048-523-2812(代表)
深谷市上野台244-2（農村整備部） ☎ 048-571-2241(代表)
<http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0906>



第10号（年2回発行）

コバトン

県産農産物サポート店をご利用ください

1 県産農産物サポート店とは

皆様に埼玉県産農産物を手軽に購入していただくため、県産農産物を利用した食品や料理を召し上がっていただけるように、それらを積極的に取り扱っている小売店、食品製造業者、飲食店及び卸売業者を「県産農産物サポート店」として登録し、県のホームページで紹介しています。

現在、埼玉県内で約2,000件以上、大里地区では約270件の店舗に登録いただいております。右の写真のようなプレートや看板を掲示しています。

埼玉農産物ポータルサイトSAITAMAわっしょい！

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/saitama-wassyoi/buy/support/index.html>)



2 どんな事業者が対象？

埼玉県産農産物を使用した料理や原材料とした

食品を取り扱っている事業者の方が対象となります。なお、県産農産物は年間を通しての使用だけでなく、一時期の使用でも登録は可能です。

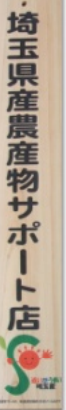
3 サポート店の登録を推進中

安全・安心な県産農産物を県民の皆様にも十分味わっていただくためにこれからも県産農産物サポート店の登録を推進していきます。

県産農産物を積極的に使用している食品関連の事業者の方、又はそのような事業者の方をご存じの方はぜひご連絡ください。

【お問い合わせ】

管理部 地域支援担当 ☎048-523-2812



お取り寄せ埼玉県産農産物応援サイト

埼玉県産農産物や加工品をお取り寄せして、楽しんでいただくため、花や米、野菜、畜産物、6次産業化商品などを電話やWEBで注文できる農園などをとりまとめ、埼玉県のホームページで紹介しています。ぜひご覧ください。

お取り寄せ埼玉県産農産物応援サイト

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0902/otoriyose.html>)



ホームページ等で通信販売を行っている生産者の方で、掲載を希望の方は当センターへご連絡ください。

掲載内容は、商品名・農園名・商品写真・連絡先・URL・定休日・簡単なアピールなどです。

【お問い合わせ】

農畜産物について・・・

地域支援担当 ☎048-523-2812

6次産業化商品について・・・

新規就農・法人化担当 ☎048-526-2210



CONTENTS < 目次 >

表紙 県産農産物サポート店をご利用ください
お取り寄せ埼玉県産農産物応援サイト

2P 今こそ、GAPに取り組んでみませんか！

3P 6次産業化に取り組んでみませんか！

4P 埼玉県農業大学校で営農スキルを学びませんか

5P ネグネクロバネキノコバエによる被害を減らしましょう！
令和2年産麦類の作柄と今後の対策

6P 除草剤抵抗性雑草について

7P 畑地かんがいの推進（荒川中部地区）

8P 県営事業の紹介～農道整備事業（北武蔵地区）～

今こそ、GAPに取り組んでみませんか！

1 GAPとは？

GAPとは、「Good Agricultural Practice（よい農業の実践）」の頭文字をとったものです。

ここでの「よい農業」とは①生産する農作物の食品安全を守る、②農作業をする人の労働安全を守る、③環境保全に取り組む、という観点から、普段の農作業を工程ごとに見直し、改善することを意味します（下図）。そして、改善を続けることによって事故等のリスクを低減し、持続可能な農業を目指します。

GAPの3本柱

- ①食品安全を守る
例：農薬の適正使用を徹底する、作業の前後やトイレのあとに手洗いをする
- ②労働安全を守る
例：危険な作業場所には注意表示をする、体調がすぐれない状態での作業は控える
- ③環境保全に取り組む
例：農薬の使用量を減らす、廃棄物を適正に処分する

- ・農作業事故防止
- ・取引先からの信頼確保
- ・無駄のない経営を実現
- ・持続可能な農業の実現

2 GAPの取組みを通じてできる新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルスに関しては、現在、食品を介して感染したという事例はありません。製造、流通、調理、販売等の各段階で食品取扱者の体調管理やこまめな手洗い、アルコールによる手指消毒や、咳エチケットなど、食中毒対策としての一般的な衛生管理がなされていけば心配する必要はないとされています。



埼玉県マスコット「さいたまっち」

（参考：厚生労働省「新型コロナウイルスに関するQ&A（一般の方向け）」）

新型コロナウイルス感染防止対策が求められる今こそ衛生管理を兼ねてGAPに取り組んでみてはいかがでしょうか。

3 S-GAP実践農場評価制度について

埼玉県ではGAPで取り組むべき内容を約50項目に整理し、各項目について県の評価員が農場を訪問して取組内容を評価するS-GAP実践農場評価制度を平成28年度から実施しています。

そして、すべての項目が適正と認められた農場は「S-GAP実践農場」として、「S-GAP実践農場評価書」を交付しています。

（すべて無料で実施しています）

現在、埼玉県全体のS-GAP実践農場数は597経営体ありますが、このうち169経営体が大里農林振興センター管内にあります。



※S-GAPの内容をわかりやすくまとめたガイドブックは農林振興センターにあります。また県ホームページにも掲載しています。

4 ご相談ください

GAPについての相談やS-GAP農場評価のお問い合わせは、下記までご連絡下さい。

【お問い合わせ】

管理部 地域支援担当

☎048-523-2812



6次産業化に取り組んでみませんか！

当センター管内では、6次産業化商品開発が盛んにおこなわれています。

令和2年2月にさいたまスーパーアリーナで行われた農商工連携フェアでは、既存の6次産業化商品の紹介・商談会の他、その年の新商品のお披露目会も行われました。

もちろん「美味しいこと」が前提ですが、世情を反映して「健康に良いもの」や「色の綺麗なもの」の注目度が高く、その後外食産業などとの商談が成立した商品もありました。

新商品お披露目会では、参加したバイヤーなどの関係者による人気投票が行われ、深谷市の（株）和ナチュラルテイストが出品した「ゆずネギドレッシング」が第1位に選ばれました。



ゆずネギドレッシング（和ナチュラルテイスト）
新鮮な深谷ネギと毛呂山産の桂木柚子をたっぷりを使用したドレッシングです。

また、人気投票で評価が高かった商品の中から、大里地区では下記の4商品が埼玉県健康長寿課の行っている「埼玉県コバトン健康マイレージ」の抽選商品に採用されました。



ブルーベリーチーズスプレッド（ファームFUMI）
ブルーベリーに国産クリームチーズをあわせたスプレッドです。

ビーツドレッシング（和ノウカス）
色鮮やかなビーツを使った、和風ベースと豆乳ベースの2種類のドレッシングです。



ほんとうの胡麻ギフト（ビーナスファーム）
金・黒の胡麻に胡麻ふりかけをセットにしたギフト用品です。

もち麦うどん（ゆたか農場）
自家栽培のもち性大麦と農林61号の小麦粉で作ったうどんです。



6次産業化により、自分の農産物に付加価値をつけて経営発展を目指そうとお考えの方は、当センターにお声がけください。

【お問い合わせ】
農業支援部
新規就農・法人化担当 ☎ 048-526-2210

「埼玉県コバトン健康マイレージ」とは？
(<https://kobaton-mileage.jp/>)

ウォーキングや特定健診の受診などでポイントを貯め、抽選により賞品が当たります。

興味のある方は、こちらのQRコードから詳細をご覧ください。



埼玉県コバトン
健康マイレージ



コバトン

埼玉県農業大学校で営農スキルを学びませんか

1 令和3年度 学生募集のお知らせ

農業実践力を養える埼玉県農業大学校で営農スキルを学びませんか。

同校は、埼玉県の未来を担う優れた農業者や関連産業の担い手を育成するために埼玉県が設置している学校です。昭和20年に埼玉県農民道場として現在の鶴ヶ島市で開校以来、多くの人材を本県農業の担い手として輩出してきました。

平成27年に熊谷市に移転し、更にカリキュラムを充実させています。

農業の生産から加工、流通、販売、消費まで一貫した学習を行うほか、各種資格・免許取得の機会が得られます。

入学願書などの出願書類は「埼玉県農業大学校」及び「県農林部農業支援課」、「大里農林振興センター」で入手できます。また、埼玉県農業大学校ホームページからも、出願書類等をダウンロードできます。



【お問い合わせ】

農業支援部

新規就農・法人化担当 ☎ 048-526-2210

表1 募集人員

学科名	定員	90名
野菜	30名	
水田複合	5名	
花植木	15名	
酪農	5名	
短期農業	35名	

表2 入試日程

学科(専攻名)	入試区分	出願期間	試験日	合格発表
野菜	推薦入試	R2.10.1(木)~10.13(火)	R2.10.29(木)	R2.11.10(火)
水田複合	一般入試	前期：R2.11.2(月)~11.13(金)	R2.11.27(金)	R2.12.9(水)
花植木				
酪農				
短期農業		後期：R3.1.4(月)~1.13(水)	R3.1.28(木)	R3.2.4(木)

※短期農業学科は1年過程、他は2年過程

※短期農業学科には、短期野菜専攻と有機栽培専攻があり、推薦入試は短期野菜専攻のみで行われます。

2 活躍している大学校卒業生

大里農林管内では、多くの埼玉県農業大学校卒業生が農業の担い手として活躍しています。

今回は、平成28年に熊谷市に就農した矢田堀善昌さん、和江さん夫妻を紹介します。

矢田堀さん夫妻は、大学校が熊谷に移転した直後の平成27年に、夫婦揃って短期野菜専攻に入学されました。善昌さんは28年に就農。

和江さんはさらに有機栽培の技術を学ぶために有機栽培専攻に再入学され、平成29年に就農されました。

また和江さんは、在学中の平成28年に農業女子キャリアアップ講座にも参加され、女性視点での農業への取り組み方などを学びました。

矢田堀さん宅では、ご両親が主穀+露地野菜の経営をされており、それを引き継ぐべく基礎技術習得を目指して入学就農されたのですが、就農後

は、ご両親の経営を継承されるだけでなく、経営規模や販路の



矢田堀善昌さん、和江さんご夫妻
(いちご苗ハウスにて)

拡大にも積極的

に取り組んでいます。「農家の後継者であっても、大学校で基本的な栽培技術などを学ぶことはとても重要。視野が広がるし、新たな人脈もできる」と話す善昌さん。今年からは全く新しい品目として、いちご栽培にも取組始めており「今後は現在の経営を拡大するだけでなく、新たなことにもチャレンジしていきたい」と抱負を語ってくれました。

ネギネクロバネキノコバエによる被害を減らしましょう！

ネギネクロバネキノコバエは、2014年に埼玉県北部の秋冬ねぎで初めて発生が確認されました。国・県の関係機関が連携し、生態の解明や農薬登録が進み、防除による対策が施されて近年では被害は減少傾向となっています。

今年度は「ネギネクロバネキノコバエ防除対策展示ほ」を管内20か所に設置し、生産者の皆さまへの試験成果の普及・啓発を目指しています。

1 害虫の生態と被害

成虫は3月中旬から12月上旬に生息し、年間6～7世代発生してねぎの地下部に産卵します。幼虫は、ねぎの地下部に寄生し、集団で茎盤や葉鞘部を中心に食害します。食害が軽い場合は地上部に被害は出ませんが、激しくなると外葉が枯れ、生育が悪くなります。

気温の低下する9月以降に増加し、ねぎ等植物の土中に寄生して越冬します。

2 防除対策

排水対策の徹底と、クロバネキノコバエ類の登録薬剤による定期的な防除を行います（右表参照）。

特に、土寄せ直前の灌注処理による密度の低減がポイントとなります。また、寄生場所となるねぎ残さなどは、石灰窒素や薬剤等を用い、適切に処理しましょう。（農薬登録状況は令和2年8月26日現在）

【クロバネキノコバエ類に登録のある農薬】

作用機分類 (IRACコード)	農薬商品名	使用時期	使用方法	本剤の使用回数
3 A	フォース粒剤	定植時	作条土壌混和	1回
4 A	ベストガード水溶剤	収穫前日まで	散布	3回以内※1
1 5	カスケード乳剤	収穫14日前まで	散布	3回以内
1 5	デミリン水和剤	収穫21日前まで	株元灌注	3回以内
4 A	スタークル顆粒水溶剤 (アルバリン顆粒水溶)	生育期、但し収穫14日前まで	株元灌注	1回※2
1 A	ランネット45DF	収穫7日前まで	散布	4回以内
4 A	スタークル粒剤 (アルバリン粒剤)	生育期、但し収穫3日前まで	株元散布	2回以内※2
3 0	グレーシア乳剤	収穫7日前まで	散布	2回以内
2 8	ヨーバルフロアブル	収穫3日前まで	散布	3回以内

※1 ベストガード粒剤を生育期（定植時を除く）に使用する場合は、それを含め使用回数が3回以内

※2 スタークルとアルバリンは同じ有効成分（シノテフラン）のため、注意して使用してください。

顆粒水溶剤の生育期の株元灌注は1回、粒剤の生育期株元散布は2回以内です。

農薬を使用する際は必ず使用農薬のラベルを確認し、使用基準を遵守するとともに、周辺作物への飛散防止に努めましょう。

【お問い合わせ】

農業支援部 技術普及担当 ☎ 048-526-2210

令和2年産麦類の作柄と今後の対策

1 作柄概況

令和2年産麦類の播種作業は、台風19号や11月下旬の降雨により遅れました。一部では湿害や土壌のクラスト化による苗立ち不良が見られ、播き直しを行ったほ場もありました。

小麦では、12月～3月が高温で推移したため、生育が進み出穂期も早まりました。4月の低温の影響で登熟はゆっくり進みましたが、登熟後期は高温のため急速に登熟が進みました。収穫は平年並みの6月上旬から始まり、収量は平年並み～やや少ない傾向となりました。生育診断ほの収量も平年の97%とやや減収となりました。熊谷市・深谷市の一部地域では、6月6日の大雨と降雹の影響により穂の折損、外観品質の低下が見られました。

大麦では、栄養生長期間が高温で推移し、土壌水分も十分にあったため生育は早まり、茎立期・出穂期ともに早まりました。3月下旬の低温により、一部で凍霜害とみられる葉の黄化や不稔粒が

発生しましたが、収量に影響するほどの被害ではありませんでした。4月が低温で推移したため、生育はやや停滞しました。5月は高温でしたが、降雨もあったため枯れ熟れ症状は見られず登熟は順調に進みました。ビール大麦の収穫は5月中旬から始まり5月中に終了しました。裸麦・六条大麦の収穫は降雨の影響で平年に比べ遅れました。収量は、ビール麦ではやや減収、裸麦・六条大麦では平年並み～やや多収となりました。

2 今後の対策

近年、高温や乾燥、まとまった降雨など極端な気象に見まわれ、作柄が不安定になりやすくなっています。安定した収量や品質を確保するためには、土づくり、適期播種、湿害対策など、基本技術の励行が重要です。

【お問い合わせ】

農業支援部 技術普及担当 ☎ 048-526-2210



除草剤抵抗性雑草について

1 除草剤抵抗性雑草とは

近年、同一系統の除草剤を連用し、雑草管理をしているほ場や畦畔、ハウス周辺などで、特定の雑草が残草し優先化している事例が目立ってきました。

このように除草剤を散布しても枯れなくなった雑草を「除草剤抵抗性雑草」といいます。これは、除草剤抵抗性の遺伝子を持った一部の個体が、同じ除草剤に継続的に暴露されることによって、抵抗性を持った個体のみが生き残ることによって考えられています。

2 主な除草剤抵抗性雑草

（1）スルホニルウレア（SU）抵抗性

スルホニルウレア系の除草成分は多年性雑草や広葉雑草等に効果が高いため多くの水田除草剤に使用されています。抵抗性が確認されている草種は水稲ではアゼナ、イヌホタルイ、コナギなど20種以上、麦類ではハーモニー75DFに抵抗性を持つスズメノテッポウ1種です。



図1
SU抵抗性ホタルイ
(濃い緑の部分)

（2）トリフルラリン抵抗性

トリフルラリンは麦類ではトレファノサイド乳剤など8種類の除草剤に使用されています。スズメノテッポウなどで抵抗性が確認されており、麦類の畦間に敷き詰めたようにスズメノテッポウが発生するほ場が増加しています。

（3）グリホサート抵抗性

近年、ラウンドアップ等グリホサート系の除草剤に抵抗性を持つ雑草が急激に増加しています。オヒシバ、オオアレチノギク、ヒメムカシヨモギ、ネズミムギ（イタリアンライグラス）で抵抗性が確認されています。

非選択性除草剤で登録作目が多く、水田畦畔や休耕田、道路などほ場内外で使用でき、安価なジェネリック品が入手できることから抵抗性

雑草が拡大していると考えられます。



図2
グリホサート
抵抗性と
感受性のオヒシバ

3 抵抗性雑草の防除対策

（1）水稲・麦類

水稲作で単一草種の残草が見られる場合には、残草に登録のある中・後期除草剤を使用します。翌年以降の対策としては、JAの農薬注文書や農薬のチラシ等にSU抵抗性雑草に効果のあることが記載されている薬剤を使用します。雑草種子の寿命は10年以上のものもあるので注意が必要です。

SU抵抗性雑草が見られない場合には、同一薬剤の連用は2年程度に抑え、複数の薬剤をローテーションで使用し、抵抗性が発達しないようにします（H R A Cコードの異なる広葉剤成分を選択するのが望ましい）。

麦類ではスズメノテッポウに茎葉処理で効果のある代替薬剤はありません。トリフルラリンにも抵抗性を持つ可能性があるため、播種後土壌処理剤にはトリフルラリンを含まない薬剤を選択するとともに、播種様式を変更して中耕作業を行うなど耕種的防除を検討します。

（2）水田畦畔・畑地等

非選択性の茎葉処理除草剤で雑草を管理したい場合には、作用機作の異なるグルホシネート（バスタ液剤等）やパラコート（プリグロックスL等）を含む薬剤を登録のある作物・場所に使用します。

水田畦畔は土壌処理剤と茎葉処理剤を組み合わせると省力的な体系防除が可能です。

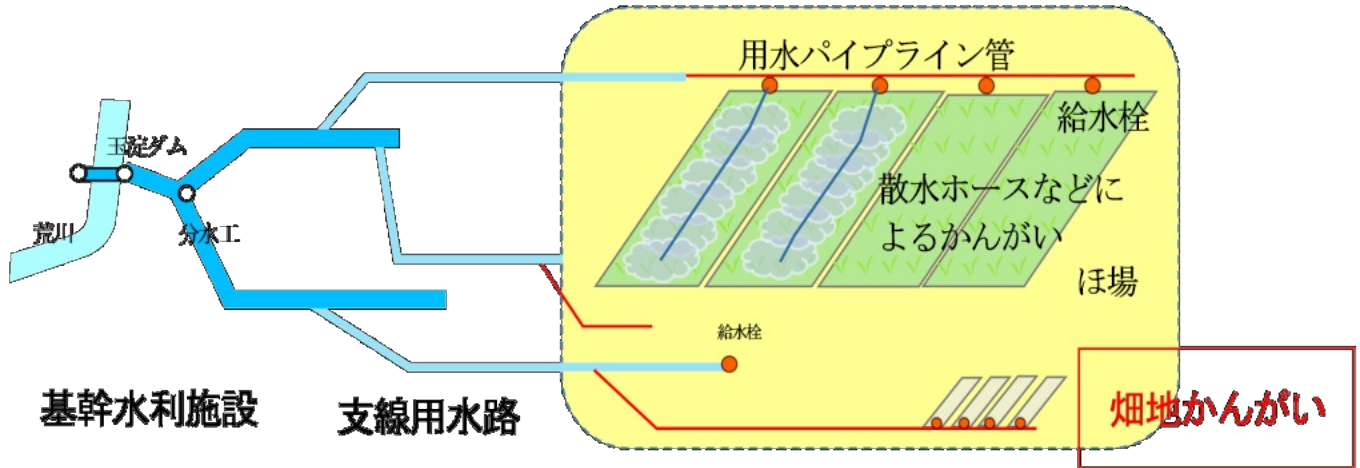
また、畦畔の崩壊や土壌の流亡を抑えるためには草刈機等の機械除草が重要です。

【お問い合わせ】

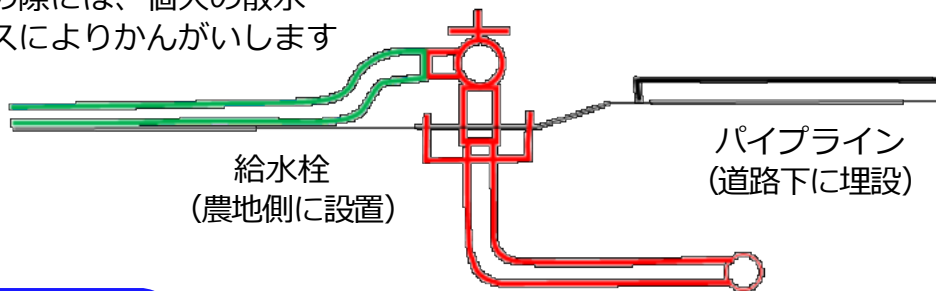
農業支援部 技術普及担当 ☎ 048-526-2210

畑地かんがいの推進（荒川中部地区）

荒川中部地区では、国、県、深谷市で、平成26年度から、玉淀ダムをはじめとする用水路や揚水機場の改修などを行っています。この玉淀ダムからの農業用水をそれぞれの畑に運ぶため、畑地かんがいを推進中です。



営農の際には、個人の散水ホースによりかんがいます



畑地かんがいの効果

畑地かんがいは、干ばつの被害を未然に防止し、作物の増収や品質の向上を図るとともに、計画的な播種・定植作業を可能にします。

また施設園芸の導入や防除作業の省力化の効果が期待できます。



灌水チューブによる散水（ブロッコリーのほ場）



スプリンクラーによる散水（ヤマトイモのほ場）

【お問い合わせ】

農村整備部 国営関連事業担当 ☎048-571-2242

県営事業の紹介 ～農道整備事業（北武蔵地区）～

1 農道整備事業「北武蔵地区」とは

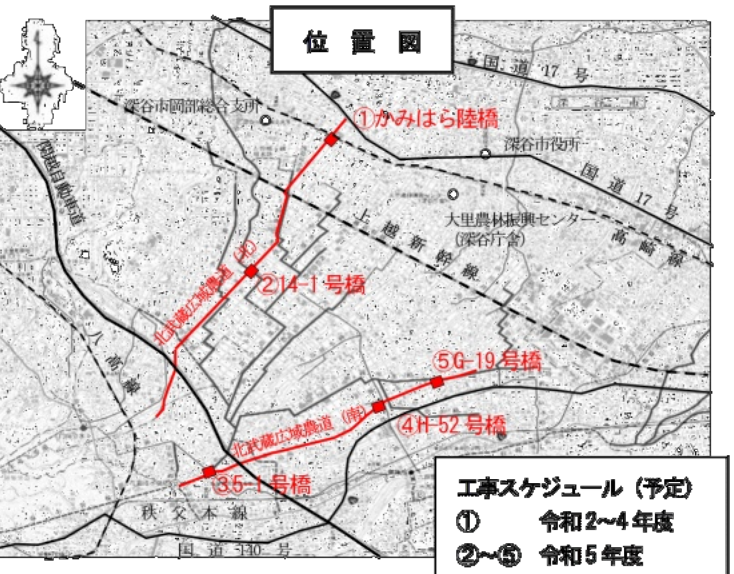
北武蔵広域農道をご存じでしょうか。別名「花植木街道」と呼ばれ、深谷市、寄居町にまたがる全長14.2kmの道路で、昭和47年に着手し昭和55年に完成しました。

この農道にある5つの橋梁は造成から40年が経過して老朽化が進んでおり、また、大規模地震を想定した設計ではないため、耐震性能が不足しています。

この様なことから、大規模地震に耐えられるように橋梁の耐震補強や経年劣化部分の補修を行う事業が農道整備事業「北武蔵地区」です。

2 耐震補強とは

阪神淡路大震災では昭和55年以前の基準により造成された橋梁に甚大な被害が出ました。このため、県では同じ基準で建設された橋梁を対象に、橋梁の補強や橋桁の落下を防止する耐



震補強工事を進めています。具体的には、以下のような方法で現在供用中の橋梁の耐震補強工事をを行います。



橋脚の変形、倒壊防止のための橋脚コンクリート巻立てによる補強



橋桁落下防止のための縁端拡幅による桁かかり長の余裕確保



橋桁落下防止のための緩衝チェーンによる橋台・橋脚との連結



橋桁落下防止のためのPCケーブルによる橋桁どうしの連結

<出典：埼玉県道路環境課HP>

3 工事のスケジュール

北武蔵地区の今後の予定ですが、令和2年度から令和4年度にかけて①かみはら陸橋を整備し、令和5年度はその他の4橋梁を整備します（上記、位置図参照）。

なお、工事実施中は、片側交互通行などの交通規制を予定しています。

北武蔵広域農道をご利用している方、付近にお住まいの方には多大なご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願ひします。

【お問い合わせ】

農村整備部 県営事業担当 ☎048-571-2242